

公益信託山田徳郎奨学基金について

岡谷市では、長野県内の高等学校に在学する生徒に対し、修学上必要となる学資金を助成する制度があります。

令和7年度の奨学生を下記のとおり、募集いたします。

公益信託山田徳郎奨学基金について

岡谷市横川出身で山田工業株式会社(現サンワテクノス株式会社)取締役相談役であった故・山田 徳郎 氏(当時79歳)が昭和 63 年に「郷里の恵まれない環境のもとで、数々の困難に耐えて苦学している高校生たちに支援を行いたい」という想いから、私財を投じて作られた公益信託制度による奨学基金です。

現在、みずほ信託銀行が受託し、基金を運営しており、株式の配当金が奨学金として給付されています。

山田 徳郎 氏 とは



山田 徳郎 氏は子供の時に両親と死別し、小学校高等科2年を卒業後、上京して、現在の東京電力の給仕として働く傍ら、夜は早稲田大付属早稲田工手学校電気科で勉学に励まれました。

同校を卒業後、「大同信号」に技術者として就職し、その後に満州国へ出向した後、現地の大商社であった「福昌公司」へ転籍。太平洋戦争が開戦した後、会社の命を受けて、ボルネオ島の現地へ向かい、そこで終戦を迎え、日本へ帰国。戦後の混乱が続く中、1949年に山田工業株式会社を設立しました。

山田 氏はこうした苦学の経験から「貧しい家庭で学問をしたいという優秀な学生をなんとかしたい」という想いを抱かれ、この基金を設立されました。

奨学基金の概要について

<申込資格>

- ①岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する者
- ②学業、人物ともに優秀な者
- ③経済的理由により就学が困難であること

<給付方法> 年4回(6月・9月・12月・3月)に分けて給付します。

<給付月額> **15,000円** /月(最大36か月間給付)
*給付型の奨学金であり、返済は不要です。

<募集〆切> **令和7年3月31日(月)**

<募集人数> 若干名

<給付決定> 奨学生選考委員会の審査を経た上で決定し、通知します。

申込方法等の
詳細については、
岡谷市の HP を
確認ください。

